

●点眼薬として

人工涙液

涙液を補うことで、目の疲れやかすみ、目の乾き、コンタクトレンズ装着時の不快感等に対応するもの

一般点眼薬

涙液の補充に加えて、一般的な目の痒みや結膜充血等の症状を抑える成分が配合されているもの

抗菌性点眼薬

抗菌成分が主薬として配合されたもので、結膜炎（はやり目）やものもらいなどに対応するもの

アレルギー用点眼

花粉、ハウスダスト等のアレルギーンによる目のアレルギー症状（流涙、目の痒み、結膜充血等）の緩和を目的



① 麦粒腫 (ものもらい)

睫毛の根元にある瞼板腺の脂腺がふさがり、中が化膿する。細菌感染によって起こる。

② 睫毛内反 (さかさまつげ)

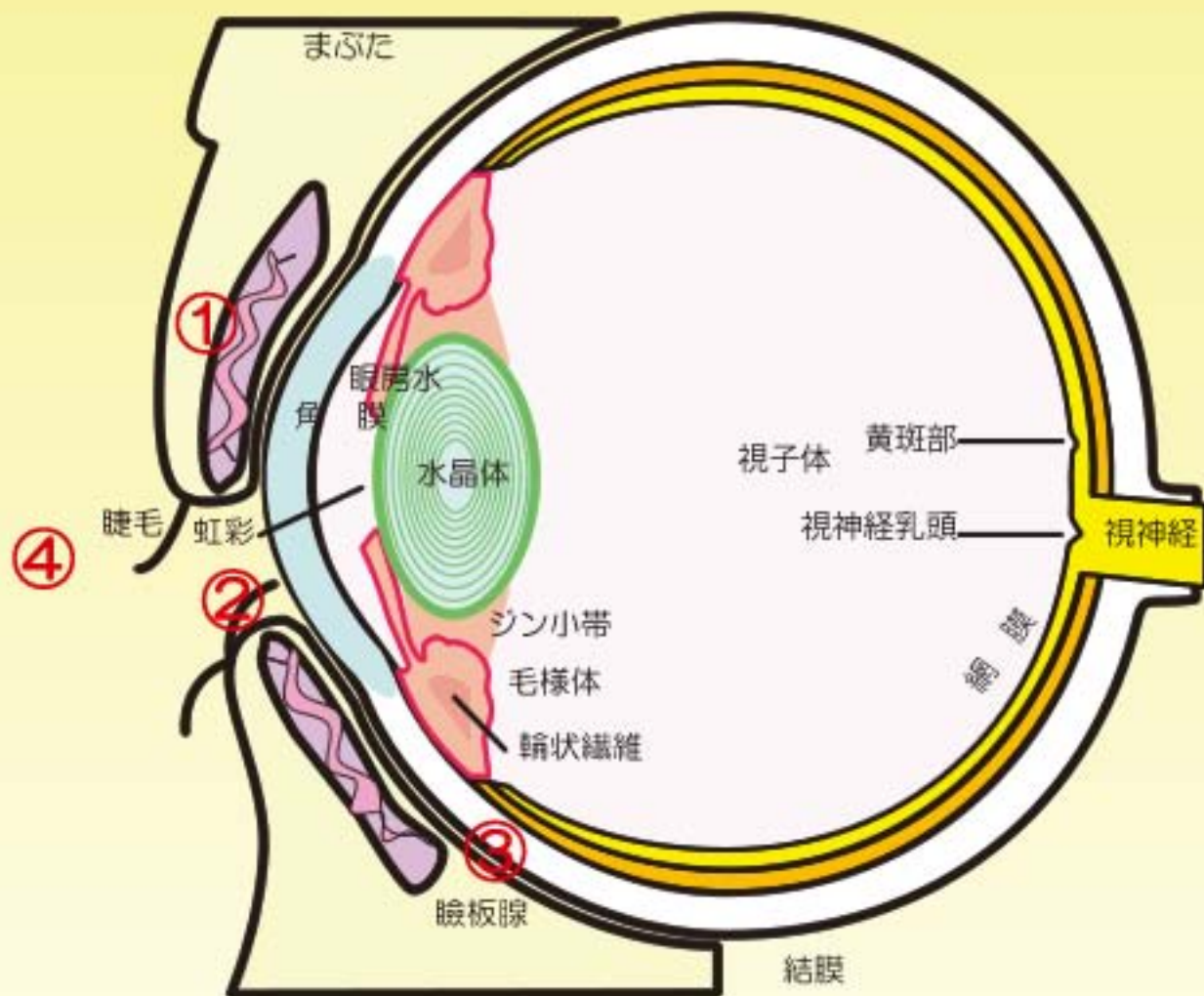
睫毛が目のほうに向いて生え、目を刺激する。

③ 結膜炎

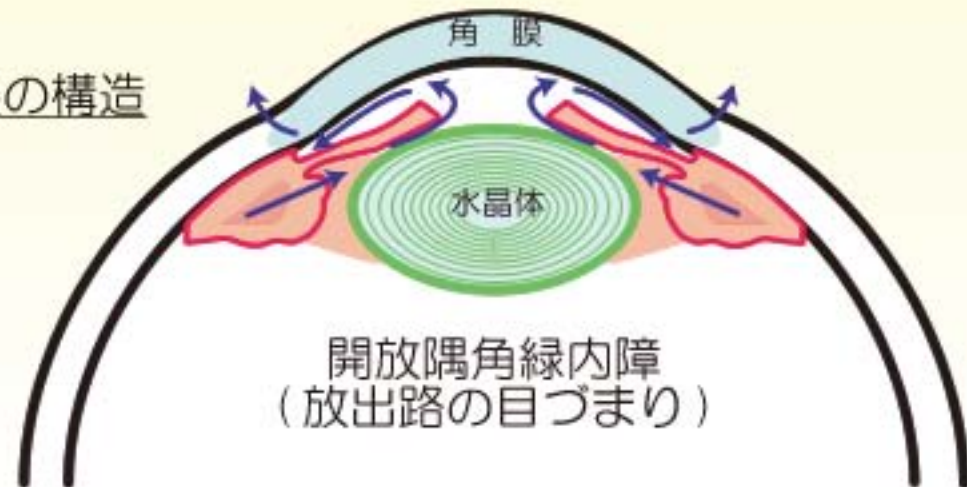
白目の部分からまぶたの裏側にかけてある結膜の炎症。細菌やウイルス、アレルギーなどによって起こる。

④ 雪眼炎、雪目

紫外線をきむ光に長時間曝露されていると、角膜の上皮に損傷を生じることがある。



上から見た眼の構造



目の乾きを改善する配合成分

コンドロイチン硫酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリビニルアルコール（部分鹸化物）、ヒアルロン酸ナトリウム

結膜や角膜の乾燥を防ぐことを目的

目の痒みを抑える配合成分

塩酸ジフェンヒドラミン、マレイン酸クロルフェニラミン

目の痒みを和らげることを目的

注 眠気が現れることがあるため、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。

クロモグリク酸ナトリウム

肥満細胞からのヒスタミン遊離を抑える作用

注 アレルギー性でない結膜炎等に対しては無効



目の充血、炎症を抑える成分

アドレナリン作動成分

結膜を通っている血管を収縮させることで、目の充血を除去する作用を示す成分

塩酸ナファゾリン、硝酸ナファゾリン、塩酸エフェドリン、塩酸テトラヒドロゾリン

注意すること

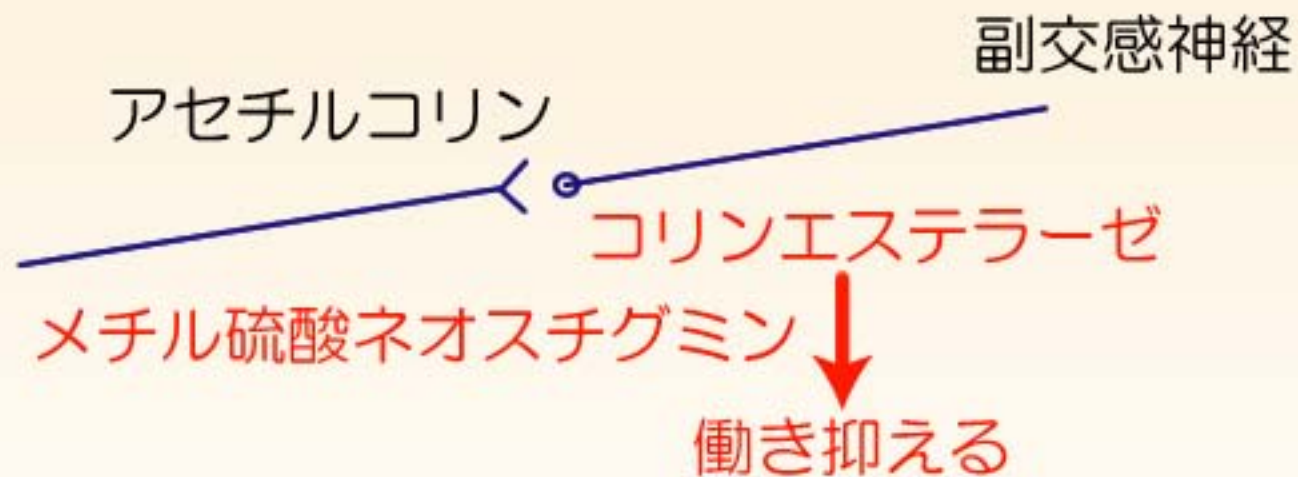
緑内障と診断された人では、眼圧の上昇を招き、緑内障を悪化させたり、その治療を妨げるおそれがある

5～6日間使用しても症状の改善が見られない場合は注意。

調節に働く成分

メチル硫酸ネオスチグミン

アセチルコリン分解酵素の働きを抑える作用があり、アセチルコリンの分解を妨げることで、目の調節機能を改善する。



抗菌作用を有する配合成分

スルファメトキサゾール、スルファメトキサゾールナトリウム等

細菌感染（ブドウ球菌や連鎖球菌）による結膜炎やものもらい（麦粒腫）、眼瞼炎などの化膿性の症状の改善を目的

無機塩類、ビタミン類などの配合

塩化カリウム、塩化カルシウム、塩化ナトリウム、硫酸マグネシウム、リン酸水素ナトリウム、リン酸二水素カリウム等が用いられる。

涙液の主成分はナトリウムやカリウム等の電解質であるため

アミノ酸の配合

アスパラギン酸カリウム、アスパラギン酸マグネシウム、アミノエチルスルホン酸（タウリン）等

新陳代謝を促し、目の疲れを改善する効果



抗炎症成分

塩化リゾチーム、グリチルリチン酸二カリウム、硫酸ベルベリン

比較的緩和な抗炎症作用を示す

イプシロン-アミノカプロン酸

炎症物質の生成を抑える作用



組織修復成分

アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）やアラントイン

炎症を生じた眼粘膜の組織修復を促す作用

収斂成分

硫酸亜鉛

眼粘膜の蛋白質と結合して皮膜を形成し、外部の刺激から保護する作用

局所性の副作用

目の充血や痒み、腫れがあらわれることがある。

全身性の副作用

皮膚に発疹、発赤、痒み等が現れる



受診勧奨

● 緑内障によるものであった場合

配合されている成分（アドレナリン作動成分）によっては、緑内障の悪化を招くおそれがある場合がある。

● 目の痛みが激しい場合

急性緑内障、角膜潰瘍、眼球への外傷等を生じている場合がある。